

社内報 3 月号

株式会社NITTOH

2016 年度の建設投資見通し と今後の住宅産業(出典:建設経 済研究所)

建設投資の回復基調は続いており、15 年度の建設業界の業績改善は鮮明に表れています。15 年度の住宅着工戸数は、91.6 万戸(前年度比 4.0 %増)と予測されています。16 年度は、17 年の消費増税駆け込み需要により着工数増加が見込まれ、95.4 万戸(前年度比 4.1 %増)と予測されています。ここにきてマンションの施工不良の問題が発生し、以前のように建築確認・検査の厳格化が図られ、着工数への影響が懸念されています。民間非住宅建設投資も緩やかな改善が継続すると予想され 16 年度は、前年度比 2.3 %増と予測されています。建設業界では、建設技能者の高齢化と若年入職者の減少という構造が続いているが、好調な業績に後押しされここ数年は建設技能労働者は増加しており、社会保険加入促進など待遇改善や機械化や IT 化などによる生産性向上にも取り組まれています。多くの大手、中堅企業が重要な課題として、品質、安全といった現場力の強化と、リニューアル、海外、不動産の強化をあげています。

パリで開かれた COP21 で、新たな枠組みとなる「パリ協定」が採択され、今世紀後半には温室効果ガス排出を実質ゼロにすることが盛り込まれました。産業界にとって地球温暖化への対応は大きな課題となり、低炭素化、再生可能エネルギーや水素の活用、リサイクルなど、限りある資源やエネルギーを有効に活用することが課題となります。家庭においても環境と経済の両立を実現するための省エネルギー化の推進が進められていきます。省エネルギー技術を導入している家庭は、していない家庭に比べてエネルギー需要は四分の一だと推計されています。ここでの仮定は、LED 電球による省エネ、太陽光発電による再生可能エネルギーの利用、壁・床・屋根の断熱材の利用、二重窓による断熱性の向上、エネルギー効果の高い冷蔵庫とエアコンの使用、家庭用燃料電池またはヒートポンプ給湯などによるエネルギー効率改善、ハイブリッド車または電気自動車などの利用という設定です。

こうした状況から考えると建設産業は、社会から必要とされ、また次世代のために期待されていることも多いようです。当社の進むべき道も見えてくるように思います。

健康管理

健康診断が各地で行われています。健康意識の高い会社は、業績も好調とのこと。また、見た目にも、話す内容にも、元気がある人のほうが、営業成績がいいという話もあります。検査結果に悪いところがあった人は、必ず 2 次検査などを受けしっかり治療するようにお願いします。また、ちょっと成人病的なものがある人は、普段の生活習慣の改善に取り組んでみてはいかかでしょうか。また、まだ若いと考えている人も、若い時からの生活習慣が

そのまま継続されていくそうですから、健康に問題が生じる前から、健康的な生活習慣を維持するように取り組みましょう。また、体型や体力を維持、また高めていくのも若い時からスタートしたほうが楽に結果に結びつくそうです。

住宅メーカー様の防蟻対策

当社の創業の事業は木材を利用したインテリア家具の製造、販売でしたが、その後新築住宅のシロアリ予防を行い、既設住宅でのシロアリ駆除で売上が大きく伸びて会社としての基礎の形ができました。当時は、こうした技術が時代の先端をいっており、世の中からも必要とされ、当社は技術的にも高く信用も高かったため、取引先にも恵まれ成長することができました。そしてその後も新しい技術を積極的に採用し、時代の先端を走り続けてきました。そうした経緯のために、防虫事業の印象が強いところが、社内社外にもあるのですが、時代は大きく変わりました。当社が、以前そうであったように、技術的に時代の先端を走り、お客様のニーズに対し率直であろうとするならば、いろいろな意味で変革を迫られています。大手住宅メーカー様の防蟻対策は、新築時においては、ほぼ土壌に薬剤散布をするということがなくなり、防蟻専門会社が施工しない工法が主流になっています。また、再施工においても土間コンクリートやべた基礎に、薬剤を散布するということがなくなり、今の新築工法が 10 年を迎える頃にはなくなることでしょう。鉄骨系住宅と木質系住宅では、考え方が異なるところもありますが、今後はますますこうした住宅メーカー様の防蟻対策技術を一般の工務店や分譲住宅、さらにJA組合員宅へと展開させていき、住宅メーカー様の様に家全体をメンテナンスし、エコ住宅へと進歩させていくという発想が必要ではないかと思えます。現在の住宅の基礎構造では、シロアリ発生の確率は大きく下がり、湿気による腐朽などのトラブルもほぼなくなってきました。今後、エンドユーザー部門でお客様宅に訪問する時は、全員が住宅全体をリフォーム、メンテナンスを行い、家をよりよい状態に保ち、以前より住みやすくエコな住宅にして資産価値として向上させていくという発想が必要です。

組織変更

2 月 19 日に発表されたとおり、4 月 1 日付で組織が一部変更になります。名刺、印刷物など変更、手配をお願いします。当社は、毎年のように変更がありますが、どの変更も発展的な変更で、硬直している組織よりは、間違いなくいいことですね。

エネファーム順調、大型太陽光発電完成

2 月は、設備課、東京設備課でエネファーム設置の売上が大きく上がりました。また、エコエネルギー課では、大型の野立て太陽光の売上が上がりました。こうした新しいエネルギー関連の売上が

年々高まってきています。政府からの補助金や技術進歩の動向にも影響を受けて、安定性に欠けるところはありますが、多くの実績を積み上げていけば経験も高まり対応力が増し、メンテナンスの仕事など関連のビジネスも増加させていくこともできるようになるでしょう。

コラム「識羞」

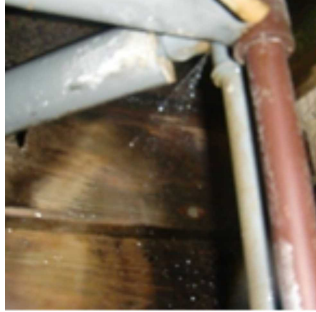
「禪」の言葉に、「羞(はじ)を識(し)る」というのがあります。中国において臨済宗の立派な僧が「我参ずること 20 年。今まさに羞(はじ)を識(し)る」と言われており、自分は 20 年参禅修行して、いまはじめて羞を識ったというのです。お釈迦様は、弟子達に自分が亡くなった後は、「戒」を師とするように言い残されました。「戒」とは文字通り「いましめ」であるが、元来の意味は「しつけ、習慣」に近い。心に良い習慣をつけることが大切で、その素晴らしさを説かれた。「戒」は、五戒が根本とされ、生き物を殺さない、人の物を盗まないとか細かく「戒」が説かれているが、大事なものは「戒」を守ってそれでよしとすることではない。心に羞(はじ)ることこそが最も大事だということである。「戒」を保つように努力しても、決してこれでいいと思うのではなく、どこまでもまだまだ足りない、羞を識ることこそ大切なのだ。「戒」の大切なことは、十分守られているなどとうぬぼれることなく、とても十分に守られていない、申し訳ないという反省の心をもつことにほかならない。五戒のもととなるものの教えを平易に言う「小さいことでも少しでも悪いことはさげ、よいことをし、人にはよくしてあげよう」というものがあるのだが、簡単だがこれほど難しいこともない。悪いと思っても、してしまうことはないかと反省したい。人に何かをしてあげる場合にも、「こんなにしてやったぞ」という心があっては相手は受け入れられないだろう。「こんなことぐらいしかできなくて、ごめんね」という謙虚な心が羞を識ることであろう。修行された僧の方でも「自分は悟った」などと言う方はいない。今までいかに迷ってきたか、いかに執着してきたか、を識ただけでそれが悟りなのかもしれない。何事も一所懸命につとめることは大事であるが、自分はこれで十分と思いがあっては決してならない。どれだけ人のお世話になってきたか、いや、どれだけ人の心を傷つけてしまったか、どれだけ物のいのちを粗末にしてしまったか常に反省し、恥じ入る心を持つことが更に大切だ。(鎌倉円覚寺管長 横田南嶺 禅語に学ぶ の要約)



施工事例紹介

●施工場所：名古屋市西区 M邸

●工事名：サイクル5年管理



■担当：名古屋営業所 岡村 浩志

施工開始時、洗面所床下にて水漏れを発見し、お客様にデジカメ画像をお見せし、状況を説明しました。

床下の異常を発見する事もシロアリ施工の重要な仕事です。

日々、お客様の大切な家を守るサービスを提供できるよう頑張っています。

ちょっと一言

「日々勉強」

瑞穂通店 店長

牧野 桂



皆様、お疲れ様です。デアール瑞穂通店の牧野です。

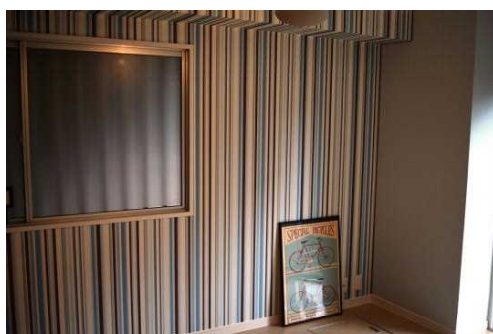
今年の4月で入社して丸三年になります。大学も建築学科でしたが、卒業してずっと住宅業界で仕事をしています。ですが、まだまだ知らない事や勉強する事が沢山あります。住宅も年々進歩・変革をしていますので、なるべく知識として取り入れたいと思います。さて、話題は変わりますが、今年の冬は急に寒くなる事はあっても暖冬と言えると思います。私事ですが暖かい冬は大歓迎です。ウインタースポーツを趣味とされている方には申し訳ないのですが、雪山に興味がありません。休みは雨さえ降らなければ必ず体を動かす様にしています。たとえば、2年ほど前から始めたロードバイクなどは割と遠くまで行くことも出来ますし、良い運動にもなります。多い時で50km～70km程の距離を走りますが、他に乘られてる方々に言わせると全然長距離では無いようです。また、バイクも好きなので休日はよく乗ります。乗らない方から見ると全然運動とは思われませんが、結構な全身運動になります。基本的に二輪が好きなのだと思えます。

話は建築に戻りますが、リフォームで趣味の部屋やガレージなどを含めた改装をしたいとお話を頂く時もあります。そう言う時はとても気合いが入ります。やはりリフォームをされたい内容やイメージを強く持っている方との仕事は、完成した時の喜びも大きいと感じます。もちろん漠然としたイメージでお話にこられる方も多いですが、そのイメージをハッキリとさせてあげる事も大事な仕事だと思っています。そのためには、多くの幅広い知識や経験が必要になりますが、それが出来るいち建築家を目指していきたいと思えます。

瑞穂通店改装



北吹風デザインリノベーションマンション施工



入社社員紹介

★冷水 大悟 奈良営業所 35歳

趣味：野球

「未経験で入社しました。精進して頑張りますのでどうぞよろしくお願いたします。」

★Happy News★

資格取得おめでとうございます

★法人建設課 松本さん

2級防水施工技能士

★阪神営業所 岡田所長

危険物取扱者(乙種第4類)